

ほうれんそう、スイートコーン、にんじん、だいこんなどほとんどのものが利用されています。本年府県に出荷された青果物 50 億の半数は航空便を利用しているものとみられます。

航空便を利用すると、夕方 5～6 時まで空港に持ちこめば、翌日の朝セリに間にあい、各地の市況を見きわめて出荷先を決めることができ、またドライアイスを使用しなくとも輸送できます。自動車便では、予冷庫に 20～24 時間入れ、品温を下げてからトラックに積むということになり、収穫後 4 日目位でないで府県市場のセリにかけることができません。ドライアイスの積込量などにも

第 5 表 レタス運賃比較表 (帯広 佐々木氏)

年度	冷凍トラック		コンテナ特急	
	11t 当たり	1c/s 当たり	5t	1c/s 当たり
52	240,000円	200円		
53	250,000	208		
54	290,000	242	82,000	174

問題がのこります。航空便では前もってスペースを確保しておく必要があり、運賃は割高となります。そこで生産コストを引下げ、輸送コストを吸収できなければ競合にうちかつことはできません。

国鉄は輸送の合理化をめざしフレートライナー(コンテナ特急)を走らせ、さらに青果物の輸送のため冷凍車を開発しております。第 5 表は冷凍トラックとフレートライナーの運賃の比較をしたものです。フレートライナーの方がかなり割安となっております。航空貨物運賃は千歳もちこみ、羽田から市場への運賃を含め、レタス 1C/S 標準値 350～450 円ということです。いまのところ割安価格が適用されており、ほうれんそう 1C/S 300～400 円、だいこん 10 kg 700～800 円、運賃経費の吸収にはきびしいものがあります。

省エネルギー時代の輸送方法として、付加価値の低い青果物が今後とも航空便を利用しうるのが問題となります。トラックと鉄道の貨車輸送のエネルギーの消費効率をみると、1t の荷物を 1kg 運ぶために要するカロリーはトラック 1,289.8 kcal、鉄道は 161.5 kcal で、トラックは鉄道より 8 倍のエネルギーを消費していることとなります。今後さらに省エネ、割安な輸送方法の開発が急務と考えられます。

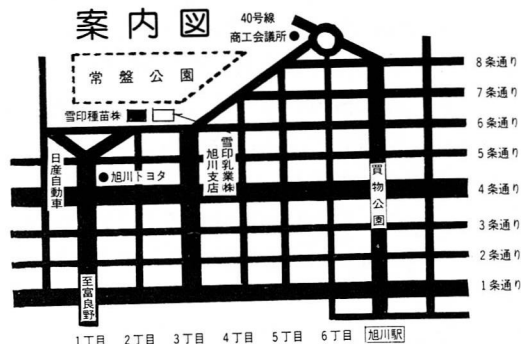
営業所移転のご案内

■十和田営業所

住所 〒034 十和田市大字伝法寺字大窪 1 の 17
 電話 01762-2-4121
 所長 小笠原勝志

■旭川営業所

住所 〒070 旭川市 6 条通り 3 丁目左 8 号
 電話 0166-23-3377-23-3719
 所長 藪内 悟



十和田営業所は昨年 11 月、旭川営業所は 12 月に各々移転完了し業務を開始しております。皆様のご期待にそうよう、なお一層の努力をいたしますので旧に倍するご指導ご支援の程、お願い申し上げます。(編集係)